

授業改善等に関する報告書（2020 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（前期）食生活科学科 健康栄養専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎栄養学	中村 彰男	<p>皆さんが憧れの実践女子大学に入学されて直ぐの講義が、COVID19の影響で前期はオンデマンド配信となりました。</p> <p>私自身は動画作成や動画配信など初めての試みでしたが、普段の講義と遜えないように努めました。大学の講義はつまらなくても面白くてもコミュニケーションを取れる対面で行うのが理想だと思います。</p> <p>限定Youtubeを用いた配信としました。皆さんからは良かったというコメントを頂きありがとうございます。でも、もし対面で行っていたらもっと皆さんと議論を交わせたと思っています。</p> <p>大学の講義は高校までの受け身的な授業ではなくて、講義中は専門科目に関して学問的な議論を行います。</p> <p>後期もオンデマンドとなりますが、自分で主体的に学ぶ力を養って下さい。一緒に頑張りましょう！中村彰男</p>
人体の構造と疾病	松島 照彦	<p>オンデマンドで大変だったと思います。先生も不慣れなもので済みません。また課題が多すぎて申し訳なかったです。コロナのことを別にしても、これからデジタルの時代になるので、先生も勉強していこうと思います。</p>
基礎化学	山崎 壮	<p>コロナ禍で始めてオンライン授業を行うことになり、資料配付型のオンデマンド授業を行いました。私にとって初めての経験であり、従来以上にデジタル教材を取り入れるなどの工夫をしたつもりでしたが、オンライン授業を行うだけで教員として精一杯であったことから、学生さんたちには不満な授業であったことが理解できました。ご免なさい。特に、計算問題に苦勞したこと、PC操作が苦手な苦勞したこと、高校で文系コースにいたから理解できないことを書いている学生が例年以上に多かったことから、例年以上に理解に個人差が大きかったことが推測されました。この科目のありかたを含めて改善することをめざします。</p> <p>これまでの授業経験から、「基礎化学」で取り上げる履修内容に興味を感じる学生と興味を感じない学生の差が大きく、一人一人の理解に個人差が大きいがわかっていました。資料配付型のオンデマンド授業では、興味を感じない学生には配布資料を読んで自己学習することが困難なことから、「基礎化学」の履修者プロフィールのケースでは資料配付型のオンデマンド授業は不適切であり、対面型授業が好ましいとわかりました。皆さんには申し訳なかったと思っています。次年度は可能な限り対面型授業、それができない場合でもZoomによる映像配信授業にはすることにします。</p> <p>今後の専門科目の授業で「基礎化学」で取り上げたような高校の「化学基礎」の領域および栄養生化学領域でわからないことがあれば、質問に来てください。今度は対面で説明します。</p>
生化学 a	中村 彰男	<p>皆さんが憧れの実践女子大学に入学されて直ぐの講義が、COVID19の影響で前期はオンデマンド配信となりました。</p> <p>生化学aは基幹講義の中でも大変重要な科目です。今回は限定YouTubeを用いた配信としましたが十分理解して頂けたかどうか心配でした。しかしながら、皆さんからは良かったという多くのコメントを頂きありがとうございます。でも、もし対面で行っていたらもっと皆さんと議論を交わせたと思っています。</p> <p>大学の講義は高校までの受け身的な授業ではなくて、講義中は専門科目に関して学問的な議論を行います。</p> <p>後期もオンデマンドとなりますが、自分で主体的に学ぶ力を養って下さい。一緒に頑張りましょう！中村彰男</p>
臨床栄養学実習 a	加藤 チイ	<p>貴重なご意見をありがとうございました。今後の授業の参考にさせていただきます。対面授業が多かったので、特に改善してほしいことや授業要望は直接伝えてください。皆さんのご要望や理解度は個人差があり、特に授業終了後はお伝えいただいても授業に反映させることができません。後期科目については直接お伝えくださるようお願いいたします。</p>
ライフステージ栄養学 a	於保 祐子	<p>初めてのWEB授業でしたが、音声・授業資料ともおおむね良好だったようで安心しました。ライフステージごとに注意すべき栄養学的なポイントを整理して、今後の実際の献立作成や栄養カウンセリングに役立ててほしいと思います。特にライフステージ栄養学aでは、妊娠・胎児の発育、小児期の成長の理解とそれに即した栄養上の配慮が重要です。</p>
給食実務学内実習	加藤 チイ	<p>貴重なご意見をありがとうございました。「実習を通して技術や知識、力がついた」というコメントが多かったです。「叱り方が厳しすぎる」「直前の変更はやめてほしい」等の意見もありました。</p> <p>厳しい指導や直前の変更には理由があります。ご自身で振り返りをさせていただき、納得がいかない時は対面でお話してください。</p> <p>後期の「給食実務学内実習」は前期の実習で慣れたこと、後期は実際に校外実習に行き、実際の勉強をしていることなどから 教員は見守りとし皆さんが主体の実習を行いましょ。自主的に責任をもって実習することで教員から注意を受けることはないでしょう。食中毒を出さないこと、けがをしないこと、提供時間を守ること この3点は必ず守ってください。皆さんの自主的な学習に期待します。</p>

[2020（前期）食生活科学科 健康栄養専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
食育と調理	白尾 美佳	調理を通した食育の勉強が深くなって良かったと思います。コロナ禍の中で、一緒に楽しく食べるという食育ができませんでしたが、どの様な状況下でもすべてのライフステージの人々が適切な食環境にすることができ、楽しい食育ができることを願っております。
食品学 a	白尾 美佳	コロナ禍の中にあたり、オンデマンド授業を受講いただき、また、アンケートに答えていただきありがとうございます。いろいろと不備もあったかもしれませんが、より充実した内容にしていきたいと思っております。
理化学実験	山崎 壮	「理化学実験」の授業のねらいは、実験の基礎的・基本的手法を実体験して知ることと、実験レポートの書き方を知ることでした。 「理化学実験」では、実験手順は実験テキストにできるだけ詳しく説明したつもりですが、教員は実験全体のデモはあえてしませんでした。自分で実験テキストを読んで実験手順を理解することを求めました。また、実験結果も書かれていませんから、自分の目で結果を観察して確かめることが必要でした。「わかりやすい」とは反対の「難しい」、「どうしたらよいかよく分からない」ということが多かったと思います。学生には、失敗してもいい、むしろ失敗しながら覚えていけばいいと言っていました。実験操作を失敗するとどこが悪くて失敗したのかを考えますから、問題なく実験を終えた人よりも操作法をよく理解できたはずで、実験操作もレポートの書き方も自分が苦労してはじめて習得できるものであると、私は考えています。意図的に、自分で考えなければならない過程をつくっているのです。また、「理化学実験」は実験が得意でない学生のための訓練授業です。したがって、授業アンケートで、実験器具の使い方が理解できたとかレポートの書き方がわかったとの意見があったことはうれしいです。2年生以降の実験授業で役立てばさらにうれしいです。 今回の授業アンケートの意見で特に印象的だったこととして、「対面授業がこれしかないので友だちを作るいい機会になりました。」「毎回ペアが変わるのでいろいろな人とおしゃべりができてとても楽しいです。」など対面授業であってよかったと言ってくれたことです。対面授業の重要性を改めて感じました。
食品学実験 a	白尾 美佳	コロナ禍にあたり、対面授業の実施について、半分にはわけて、移動もいろいろ大変だったと思います。しかし、食品標準成分表の理解につながったかと思っております。今後も、安全に授業ができるようさらに検討していきたいと思っております。
栄養生理学	奈良 典子	前向きなコメント有難うございます。今後の授業に反映していきます。
公衆衛生学 a	佐々木 溪円	オンデマンド方式に関する意見も含めて様々な意見をありがとうございます。今般、新型コロナウイルス感染症の検査や対策が政策論争の道具にされたり、「新型」「未知」という言葉による恐怖感で過剰な対策が見られたりしています。保健医療従事者を指す者として、大学の授業を切っ掛けとして、疑問点は自分で調べて考える学習を今後も続けていただけますと幸いです。
臨床栄養管理学	加藤 チイ	貴重なご意見をありがとうございました。
給食実務論	加藤 チイ	貴重なご意見をありがとうございました。「課題が大変だったがしっかり学習できた」「音声付きの資料が役立った」「最後2回の双方向授業では他の人の発表が聞けてよかった」などの意見が多かったです。
食品加工学 a	守田 和弘	コロナの影響によりオンデマンド型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思っております。
臨床栄養学 b	加藤 チイ	貴重なご意見をありがとうございました。コメントでは「課題が大変だったがしっかり学習できた」といったご意見をいただきました。この科目の必要度は学生さんそれぞれに違うと思うので評価が難しいところですがいただきましたご意見は参考にさせていただきます。
給食計画演習	加藤 チイ	授業開始が遅れたり、対面授業の制限があったり シラバスで計画した授業が運営できなかったことは申し訳なかったと思います。学生の皆さんが全員 給食にかかわる栄養士を志望しているわけではないので授業要望は人それぞれだと思います。この授業では 自由度を高くして自主的な学びを尊重しました。貴重なご意見をありがとうございました。
食品機能論	杉山 靖正	アンケート回答率は低いものの、総合的に判断して本講義への満足度の高さが窺えます。4年生対象の講義であるため、高度な内容の講義となりましたが、予習復習をする学生が多いことも理解度が高い理由と思われる。今後も同様な姿勢でいろんなことに臨んでもらえたらと思います。

[2020（前期）食生活科学科 健康栄養専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
スポーツ栄養学 a	奈良 典子	貴重なご意見有難うございます。後期および今後の授業に反映させていただきます。
スポーツ医科学実習	河田 美保、於保 祐子 木下 美聡	スポーツの実施にはアクシデントやケガが付きものです。これらの可能性を事前に知っておく事が、スポーツに伴う病気の発症やケガを予防し重症化させないために重要です。自分だけでなく仲間や指導している対象者への対応が理解できたと思います。テーピングも心肺蘇生法も1回では覚えられない技術・手順がありますので、資料を参考に練習を積んで瞬時に実践できるようにしておきましょう。
スポーツと健康科学 a	奈良 典子	前向きなご意見有難うございます。後期、来年度に反映させていただきます